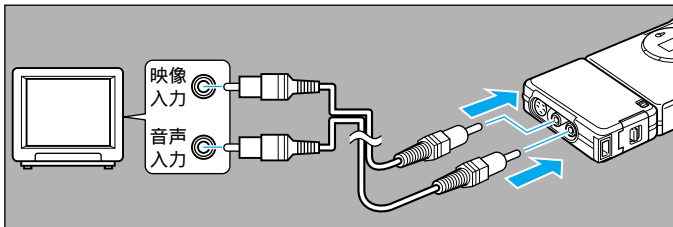




# テレビに接続する



カメラに再生アダプターを接続し、市販のAV接続ケーブルのコネクタを映像出力端子・音声出力端子に、もう一方をテレビ側の入力端子につなげると、記録した情報をテレビに再生することができます。再生の前に次のことを確認してください。

メモリーカードは入っていますか？ ➡ P.41  
再生アダプターは接続されていますか？ ➡ P.26

## 1 AV接続ケーブルを接続します。

入力側の音声入力端子がステレオタイプの場合は、白い端子に接続します。

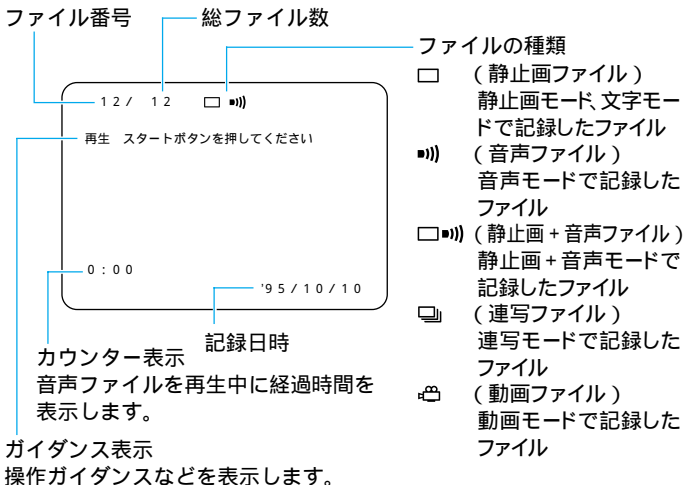
**重要** 接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

### 補足

- S端子の付いているテレビでは、S映像ケーブルを接続すると、より美しい映像を再生できます。
- 再生するときは、ACアダプター/チャージャーを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。➡「コンセントで使う」P.31
- テレビにAV接続ケーブルを接続すると、カメラ撮影のときはモニターとして利用できます。
- ビデオデッキにAV接続ケーブルを接続すると、ビデオテープにダビングできます。
- ビデオプリンターにAV接続ケーブルを接続すると、フルカラープリントできます。

# 再生画面について

再生時に、記録したファイルの番号や種類を、右の図のように約3秒間表示します。



ファイル番号

総ファイル数

12 / 12

再生 スタートボタンを押してください

0 : 00

記録日時 '95 / 10 / 10

ファイルの種類

- (静止画ファイル)  
静止画モード、文字モードで記録したファイル
- ) (音声ファイル)  
音声モードで記録したファイル
- ) (静止画 + 音声ファイル)  
静止画 + 音声モードで記録したファイル
- 📷 (連写ファイル)  
連写モードで記録したファイル
- 🎥 (動画ファイル)  
動画モードで記録したファイル

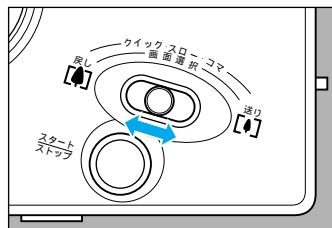
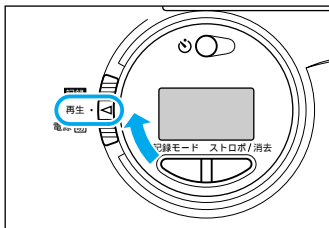
カウンター表示  
音声ファイルを再生中に経過時間を表示します。

ガイダンス表示  
操作ガイダンスなどを表示します。

## 補足

- 静止画ファイルでは、ガイダンスは表示されません。
- 再生時に、日付 (+) ボタンまたは時刻 (送り) ボタンを押すと、記録した日付や時刻を表示します。再びボタンを押すと、表示を解除します。
- 再生は、カメラを横位置に構えた状態を基準に表示します。そのため、縦位置に構えて撮影した被写体は横向きに表示されます。

# 再生します (静止画ファイル)



記録した情報をカメラのリリースボタンやズームレバーを操作して再生します。また、付属のリモコンを使うといろいろな機能を使うことができます。➡「リモコンを使う」P.84

**1** メインスイッチを [再生] にスライドします。

**補足** 最後に記録した情報が再生されます。  
➡「再生画面について」P.73

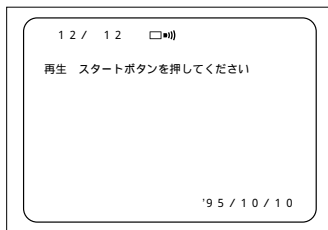
**2** ズームレバーを動かして、再生するファイルを選びます。

**ファイルを送る**  
ズームレバーを [送り] 側 (送り) に動かします。

**ファイルを戻す**  
ズームレバーを [戻し] 側 (戻し) に動かします。

**補足** 静止画モード、文字モード以外  
で記録した情報（ファイル）を  
再生する場合、再生画面のガイ  
ダンスにしたがって操作してく  
ださい。詳しくは、次のページ  
を参照してください。

静止画 + 音声ファイル ➡ P.76、  
連写ファイル ➡ P.77、  
動画ファイル ➡ P.78、  
音声ファイル ➡ P.79



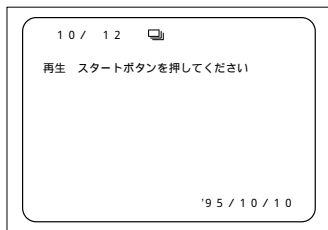
## 静止画 + 音声ファイルを再生する

### 1 リリースボタンを押します。

音声を再生します。再生が終了すると、再生前の状態に戻ります。

#### 補足

- 再生中にズームレバーを[▼]側(送り)に動かすと、次に記録されているファイルを表示します。
- 再生中にズームレバーを[▲]側(戻し)に動かすと、再生前の状態に戻ります。この状態で、再び[▲]側(戻し)に動かすと、1つ前のファイルを表示します。



## 連写ファイルを再生する

### 1 リリースボタンを押します。

静止画を1コマずつ連続再生します。再生が終了すると、再生前の状態に戻ります。

- 補足**
- 再生中にズームレバーを[+]側(送り)に動かすと、次に記録されているファイルを表示します。
  - 再生中にズームレバーを[-]側(戻し)に動かすと、再生前の状態に戻ります。この状態で、再び[-]側(戻し)に動かすと、1つ前のファイルを表示します。

#### コマ送りする

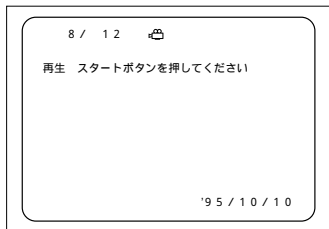
再生中に、リリースボタンを押して再生を一時停止し、ズームレバーを[+]側(送り)に動かすと1コマ進みます。

#### コマ戻しする

再生中に、リリースボタンを押して再生を一時停止し、ズームレバーを[-]側(戻し)に動かすと1コマ戻ります。

#### 再び再生するには

もう一度リリースボタンを押します。



## 動画ファイルを再生する

### 1 リリースボタンを押します。

動画を再生します。再生が終了すると、再生前の状態に戻ります。

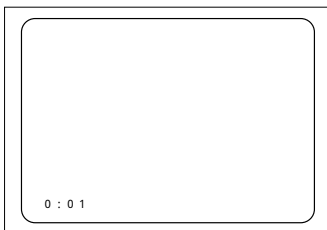
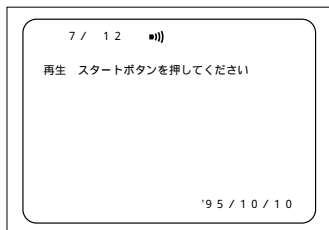
- 補足**
- 再生中にズームレバーを[+]側(送り)に動かすと、次に記録されているファイルを表示します。
  - 再生中にズームレバーを[-]側(戻し)に動かすと、再生前の状態に戻ります。この状態で、再び[-]側(戻し)に動かすと、1つ前のファイルを表示します。

コマ送り・スロー再生する  
再生中に、リリースボタンを押して再生を一時停止し、ズームレバーを[+]側(送り)に動かすと1コマ進みます。ズームレバーを[-]側に動かしたままにするとスロー再生(動画をゆっくり再生)します。

コマ戻し・逆スロー再生する  
再生中に、リリースボタンを押して再生を一時停止し、ズームレバーを[-]側(戻し)に動かすと1コマ戻ります。ズームレバーを[-]側に動かしたままにすると逆方向にスロー再生します。

再び再生するには  
もう一度リリースボタンを押します。このとき音声は再生されません。





## 音声ファイルを再生する

### 1 リリースボタンを押します。

音声を再生します。再生が終了すると、再生前の状態に戻ります。

- 補足**
- 再生中にズームレバーを[+]側(送り)に動かすと、次に記録されているファイルを表示します。
  - 再生中にズームレバーを[-]側(戻し)に動かすと、再生前の状態に戻ります。この状態で、再び[-]側(戻し)に動かすと、1つ前のファイルを表示します。

#### 早送りする

再生中に、リリースボタンを押して再生を一時停止し、ズームレバーを[+]側(送り)に動かすとカウンターが進みます。(このときは音はでません)

ズームレバーを元の位置に戻すと早送りを停止します。

#### 巻戻しする

再生中に、リリースボタンを押して再生を一時停止し、ズームレバーを[-]側(戻し)に動かすとカウンターを戻します。(このときは音はでません)

ズームレバーを元の位置に戻すと巻戻しを停止します。

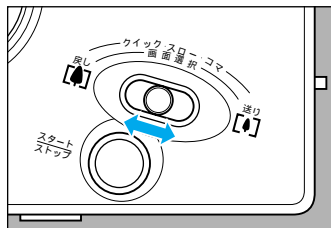
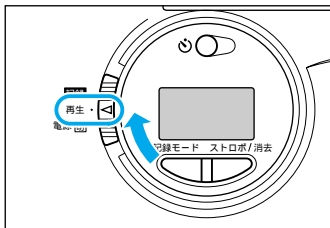
#### 再び再生するには

もう一度リリースボタンを押します。カウンターの表示時間より再生を開始します。

# ファイルの消去

メモリーカードに記録した情報（ファイル）を消去します。指定したファイルを消去する1ファイル消去と、一度に全てのファイルを消去する全ファイル消去があります。

**重要** 消去したファイルは復元できません。ファイルの内容を十分に確認してから消去してください。



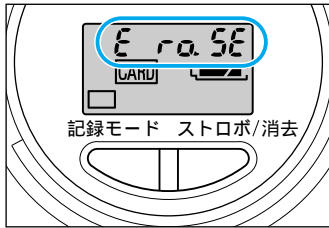
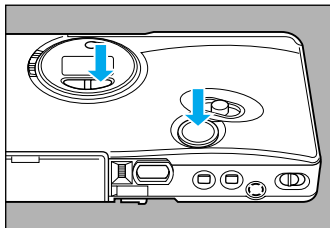
## 1 ファイル消去

**1** メインスイッチを[再生]にスライドします。

**補足** ライトプロテクトしているメモリーカードは消去できません。メモリーカードのファイルを確認後、ライトプロテクトを解除してから消去してください。  
⇒「ライトプロテクト」P.40

**2** ズームレバーを動かして、消去するファイルを選びます。

**補足** 連写ファイル、動画ファイル、音声ファイルを再生し、一時停止した状態では、ファイルの消去はできません。



### 3 ストロボ/消去ボタンを押しながら、リリースボタンを押します。

**補足** リリースボタンを押すまえに、ストロボ/消去ボタンから指を離すと、消去を中止します。

情報パネルに「EraSE」を表示し、ファイルを消去します。

- 補足**
- ファイルを消去すると、以降のファイル番号が繰り上がります。
  - フラッシュメモリー搭載のメモリーカードをお使いの場合、SRAMカードに比べファイルの消去に時間がかかることがあります。
  - リモコンを使ってもファイルを消去することができます。  
➡ P.88

### 全ファイル消去

メモリーカード内の全てのファイルを消去するときは、メモリーカードを初期化してください。

➡「メモリーカード初期化」P.42